

♪ 令和 7 年度新宿区とうきょうすくわくプログラム活動報告



1-1 活動テーマ

『音』
音楽を通じて自発的に表現しよう

1-2 テーマ設定理由

地域柄、外国籍の子どもが多い。『笑顔は世界の共通語 みんなが明るく過ごせる保育園』をモットーに、言葉の理解がなくても楽しめる音楽を取り入れました。

2-1 活動スケジュール

歌唱・リズム・鑑賞。体操などの音楽体験を楽しみながら、非認知能力を育む。

- 2025.5 月 『季節のお出かけへ行ってみない?』
- 2025.6 月 『どんな音がすき?』
- 2025.7 月 『水の世界へ行ってみよう!』
- 2025.9 月 『音楽の世界に入ってみよう!』
- 2025.10 月 『いろいろな秋の音楽を感じよう』
- 2025.11 月 『音っておもしろいね!』
～いろいろな音を見つけよう～
- 2025.12 月 『サンタさんの音ってどんな音?』
- 2026.1 月 『目を閉じてお耳をすませてみよう!』
～どんな世界が広がっている?～
- 2026.2 月 『いろいろなダンスを知ろう!』
- 2026.3 月 『どんな音がする?』



新宿区立百人町保育園
新宿区百人町2丁目18番21号



3-1 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

ipad、キーボード、アップライトピアノ、グロッケン、ペットボトル、ビニール袋、画用紙、シール、カラーリング、布、クレヨン、鍵盤ハーモニカ、赤い紐、音符・拍子カード、厚紙、マーカー、鈴、紙コップ、カラーシート、たまごシェーカー、カスタネット、鉛筆などをテーマに合わせて準備し、日々の保育に活かしやすいよう各保育室で行ってきました。



4-1 探究活動の実践 活動の内容

- 季節の歌：音楽に合わせて、手や身体を使い表現しながら歌う。
- リズム：音に合わせて身体でリズムを表現する。
音の強弱を聴きイメージを膨らませる。
自分たちでリズムを作り、拍打ちをする。
- 鑑賞：イラストや動画を見ながらピアノの演奏を聴き
様々な国の雰囲気味わう。
- 表現：音楽を聴いて、身体や描画での表現をする。
画像に合わせて音を作る、アフレコ録音をする。
など



4-2 活動中の子供の声、子供同士や保育者との関わり

- 子どもへの問いかけや会話を大切にしました。音の強弱を「おおきい」「ちいさい」、曲調を「なんかこわい（短調）」「たのしい おどりたくなっちゃう（長調）」「かぜひいた」「げんきになった」などと感じ取り言葉で表現する姿が見られました。
- 季節の歌や手遊び、楽器などを意識的に取り入れるきっかけとなり歌う、踊るが日常の中で自然に見られるようになりました。



5-1 振り返り 振り返りによって得た先生の気づき

- 音楽がより身近なものとなり、知っている曲が流れると自然に歌う、踊りだす姿が見られる。
- 乳児クラスも、感性が豊かになり音楽を聴いてイメージをもち動きや言葉で表現していた。
- 自分で音を出す、作ることを喜び、0歳児から5歳児までどのクラスも自分で楽器や音を鳴らすことを意欲的に楽しんでいた。
- 音楽を聴いてイメージして動くことがスムーズになり、積極的にアイデアを出し楽しんでいた。

